

## ◆ 平成29年度 鳴門市 各部長実行宣言（年度末報告） ◆

（ 消防本部 ）

部長名

満壽 良史

達成度区分

◎：達成(100%以上)

○：ほぼ達成(80%以上 100%未満)

△：未達成

×：未着手

No	重点項目	目標(何を、どうする)	各取組の達成度	達成状況等
1	地域防災力の強化(消防団体制の充実強化)	①消防団の再編について 消防団再編計画に基づき、今後8年を目途に消防団の再編を行い、地域防災力の底上げと将来へ向けた消防団組織を構築していきます。 本年は大津地区と板東地区の再編について、調整等を行っていきます。	◎	○大津地区 吉永分団と中江分団の再編について調整を行い、両分団から再編後の詰所建設候補地について同意を得ることができました。  ○板東地区 板東南分団と三俣分団の再編に向けた合意を得ることができ、再編後の詰所整備について検討している段階です。
		②消防団詰所の耐震化について 消防団詰所耐震化計画に基づき、今後3年間で全ての詰所を耐震化します。 本年は大代分団詰所の改築工事を実施するとともに里浦仲分団詰所の改修設計、5分団詰所(南浜、斎田、野黒山、小海日出、姫田)の耐震診断を実施します。	○	○大代分団詰所の改築工事は、平成29年10月に着手しましたが、敷地の拡大や建設地に埋設されていた廃棄物の撤去、地元関係者との調整等に時間を要したため、工事完了は平成30年度に繰り越すこととなりました。 ○里浦仲分団詰所の耐震設計は平成29年10月に完了し、来年度には耐震改修工事に着手する予定です。 ○耐震性の有無が不明だった南浜、斎田、野黒山、小海日出、姫田の各分団詰所において、耐震診断を実施し、斎田分団以外の分団詰所は建築基準法の耐震基準を満たしていることが判明しました。
	【総括達成度】  ○	◎	地域防災力の中核である消防団の装備の改善を図るため、南浜、桑島、三俣の3分団に配備していた小型ポンプ付積載車を更新しました。	

◆ 平成29年度 鳴門市 各部長実行宣言（年度末報告） ◆

（消防本部）

部長名	満壽 良史
-----	-------

達成度区分	◎：達成(100%以上)    ○：ほぼ達成(80%以上 100%未満)    △：未達成    ×：未着手
-------	--

No	重点項目	目標(何を、どうする)	各取組の達成度	達成状況等
2	火災予防のための立ち入り検査の推進	<p>□立ち入り検査の方針 糸魚川市の大規模火災の火元が飲食店であり、かつ十分な初期消火が行われなかったことを踏まえ、火災が発生すると大きな被害が出ると思定される「特定防火対象物」(725件)のうち、料理店や飲食店等(98件)を優先して消火設備や警報設備等の検査を実施します。その他の「特定防火対象物」(627件)や火災を発生させる恐れがある「危険物施設」(264件)の検査についても、昨年度検査ができなかった施設すべてを対象に実施します。また、「特定防火対象物」以外の「防火対象物」については、危険度や重要度、地域の状況等を考慮しながら年次計画的に検査を実施してまいります。</p> <p>■検査率の目標値 ①料理店・飲食店(98件) H28年度(15.3%)→H29年度(100%) ②①以外の特定防火対象物(627件) H28年度(30.4%)→H29年度(69.6%) ③危険物施設(264件) H28年度(51.5%)→H29年度(48.5%) ④その他の防火対象物(1,910件) 危険度や重要性、地域の状況等を考慮しながら年次計画的に実施</p>	○	<p>□立ち入り検査の取り組み 「特定防火対象物」のうち、これまであまり検査対象としていなかった料理店や飲食店等を優先して消火設備や警報設備等の検査に取り組み、すべての料理店・飲食店(101件)の検査を完了しました。その他の「特定防火対象物」や火災を発生させる危険性が高い「危険物施設」については、昨年度検査ができなかった施設を優先して検査を実施しました。また、「特定防火対象物」以外の「防火対象物」についても、危険度や重要度、地域の状況等を考慮しながら検査に取り組みました。</p> <p>■検査率の成果 ①料理店・飲食店 .....H28年度(15.3%)→H29年度(100%) ②①以外の特定防火対象物 ...H28年度(30.4%)→H29年度(33.5%) ③危険物施設 .....H28年度(51.5%)→H29年度(49.8%)</p>
	【総括達成度】			○